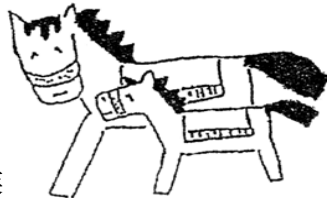


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポッキリ、ポッキリと

28年 4月 NO. 257



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		4月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
4月 9日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
4月 16日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て体験においでください。
4月 16日	土	おとなアート 14:00～16:00	人物を勢いよく描いて、線の美しさを 楽しみます。小学生もどうぞおいで下さい。
4月 21日	木	香川みずぶさんの会 14:00～16:00	高橋みどり氏による「英語の発音と うたの会」をします。どなたでもどうぞ。
4月 22日	金	おはなしの会 10:00～11:30	「笑顔いっぱい春」をテーマに 紙芝居やパネルシアターをします。
4月 22日	金	健康育児相談 11:00～12:00	園医師（小児科医）にゆっくり 相談できます。（要予約）

・火～土の13時～16時までは、園内開放しています
ので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談（月～土）9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



矢崎節夫詩集
きらり きーん

かおひおだ	だおきかれ	だ
わばやかかれ	いじゅあで	だ
おまいあくあで	わそじいうさも	だ
っあいさじさも	っりなさじん	だ
ほ んゆん	はや んゆのみ	だ
っうおもっのみ	っ おもっ ん	だ
ほれた さこんな	はうた さこな	だ
しかり いどな	れか いど	だ
いら のも	しら のも	だ
ねさん	いさん	だ
	ねん	だ



当園がめざしていること

副園長 堀 侃子

当園で職員がとりくんでいるテーマは、「和顔愛語」です。

和顔とは、どういうことをいうのでしょうか。私なりに思うことは、“職員自身が安定して穏やかな顔つきや気持ちで、こどもや保護者の方と接しているだろうか”、“笑顔でいられるような、ゆとりある楽しい保育をしているだろうか”ということです。

愛語とは、丁寧で優しく話しかけることも大切ですが、“対面しているこどもやおとなの気持ちに寄り添う言葉で話しているだろうか”ときとして気持ちにゆとりがないときは、「もうそんなことをして。おやつはないからね」と脅していたり、「こんなことだめでしょう。やめなさい」と理由も聞かず禁止してしまいます。和顔愛語とは、和顔と愛語が別々に切り離してできるものでなく、その人の内なる心の動きがそのまま、言葉やおこない、姿として現れるようにも思います。

今頃は、便利さとスピードを求めて機械化され、人と人が顔を合わせて対話しなくてもコンピューターで用がすませる世の中となり、コミュニケーションが苦手な人も増えているようです。こんな世の中だからこそ、こどもたちには自分のことを言葉で表現できる喜びや、他の人の話を聞く楽しさや心が通じ合ったうれしさなど、多くの経験をしてほしいのです。

私たち大人がこのような願いを込めて、和顔愛語を日々実行することにより、こどもたちや保護者のみなさまのコミュニケーションがより深く強く温かくつながっていくことを願っています。

1歳児クラスで実習した、将来、保育士をめざしている学生さんの記録から、心あたたまるエピソードをいくつかご紹介します。こどもの情景がイメージでき、微笑ましいのは、このクラスでおとなもこどもも保育園生活を楽しんでいると思えるからです

④ エピソード1 「くつの中の砂」

お昼の外あそびの時のできごとである。私は、Kさんと砂場でままごとを

して遊んでいた。そこにHくんがやってきて、「くつの中にお砂が入った。」と私に訴えてきたので、私はHくん「じゃあ、お砂取ろうか。」と声をかけ、くつを脱ぐように伝えた。その様子を、すぐ側で見ていたKくんが、「僕が半分やる。」と言い、Hくんの靴の中の砂を取っていた。その後も、Sちゃんが「お砂が入った。」と言うと、Hくんが走ってきて、「僕が取ってあげる。」と言って、砂を取っていたので、とても微笑ましい光景を見ることができたと思った。

.....

私は何気ないことだと思ってしていることでも、こどもたちはしっかり見ているということがわかった。こどもは、私が思っている以上に観察力があり、私を保育士として見ているということが分かるできごとであった。この経験を通して、改めて自分の言動に気をつけることが大切であると思った。

④ エピソード2 「一緒 おいしい 仲良し」

今日のNちゃんは、おやつ時間、園庭あそび時間、コーナーあそび時間、ごはん時間、全てを通して、「一緒だね。」「おいしいね。」「仲良しだね。」と友だちに言っている様子が見られた。その言葉に、友だちが「そうだね。一緒だね。」と笑って答えると、納得した様子でまた活動にもどっていた。私は、その様子を見て心がほっこりした。

.....

昨日は、このようなやりとりをしている様子が見られなかったので、今日は友だちと楽しさや喜びを共有したい気分であったのかな、と思った。私にも「一緒だね。」「おいしいね。」と言ってくれたので、Nちゃんと心を通わせることができたように思った。



④ エピソード3 「お皿がぴかぴか」

今日のおやつ時間と昼食時間のできごとである。私は、Aちゃんの食べている机のそばで他の子を見守っていた。すると、Aちゃんが「先生見て。お皿ぴかぴかになったよ。」と嬉しそうに私に伝えてくれた。私はその言葉に対し、「Aちゃん、すごいね。お皿きれいになったね。」と言うと、とても嬉しそうな顔をしていた。

その後の外あそびの時間でも、「先生、見て。おもちができたよ。」と私の元へ持って来てくれたので、「うわ！おいしそうだね。いただきます。」と言って食べる真似をすると、嬉しそうにしていた。その後も何度か同じことを繰り返して遊んだ。

「1歳児さんは、自分という存在を認めてほしい時期。」と先生が言っていたことを実際に体験することができた。

Aちゃんだけに限らず、他のこどもたちも「見て見て。」といろいろなものを見せてくれるので、私を保育士として認めてくれているような気がした。

⑩ エピソード4 「ハンカチ貸して」

コーナーあそびのときのできごとである。Aちゃんが持っているハンカチが欲しいとKちゃんが私に伝えてきた。私がKちゃんに「じゃあAちゃんに貸して、って言ってごらん。」と言うと、Aちゃんの元に走って行った。しかし、「ダメ。」と言われたようで、泣きそうな顔で戻ってきた。私が「じゃあ、先生と一緒にAちゃんのところに行こうか。」と言い、Aちゃんの元へ行って、「KちゃんがAちゃんの持つてるハンカチが欲しいんだって。」と言うとAちゃんは「やだ。」と言った。なので、私は、Kちゃんに「じゃあ違うハンカチを先生と探しにいこうか。」と言って、Kちゃんとハンカチを探していると、Aちゃんが走ってきて、「これ貸してあげる。」と言って、ハンカチをKちゃんに渡した。その後、そのハンカチをしばらく使ってあそび、またAちゃんにハンカチを返していた。

Kちゃんは、この時に限らず、園庭あそびのときにも私に訴えかけてくる場面があった。

この場面では、欲しかったハンカチをAちゃんが貸してくれたことで納得し、自分が十分あそぶことができたので、Aちゃんにハンカチを返したのだと思う。Aちゃんに返した後、私に「返した。」と言ってきたので、褒めてほしいという気持ちもあったのかなと思った。

